

ふるさと光の会だより

第8号
平成24年4月

発行 ふるさと光の会事務局
連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 光市企画調整課企画係
TEL 0833-72-1400(代表) FAX 0833-72-1436
E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp



がんばった国体!
がんばろう日本!

ニューファーマー・ニューフィッシャー

光市に続々誕生

全国的に第一次産業の後継者不足や衰退が課題となっている中、光市の農業・漁業に新しい風が吹き込み、元気を生み出しています。

光市では、新規就農・就漁を促進するため、指導受入農家への助成や漁業研修費用の補助など、人材育成に力を入れてきました。こうした制度を活用し、UターンやIターンによるニューファーマー(新規就農者)・ニューフィッシャー(新規就漁者)が続々と誕生しています。昨年7月には、農業振興拠点施設「里の厨」もオープンし、農林水産物の地産地消と第六次産業化を推進する基盤が整いました。食の安全・安心やエコロジーの観点からも、地産地消や第六次産業化が注目される今、新しい力が担う農業・漁業にまちの活性化が期待されます。



第6回

「ふるさと光の会」総会・交流会

7月6日に開催

第6回「ふるさと光の会」総会・交流会を、次のとおり開催いたします。お誘い合わせの上、多くの皆さんのご参加を、心からお待ちしております。

また、光市にゆかりがあり、まだ会員ではない方がいらっしゃいましたら、この機会にぜひともご紹介ください。同郷の輪を大きく広げましょう!

詳細なご案内は、後日改めてお送りいたしますが、取り急ぎ日程等をご案内いたします。



▼日時 平成24年7月6日(金)

総会 18時〜・交流会 18時50分〜(予定)

▼会場 八重洲富士屋ホテル

(JR東京駅 八重洲口から徒歩5分)

▼会費 交流会参加者のみで、0000円(予定)

※会場確保等の都合により、金曜日夕刻の開催となりましたので、ご了承ください。

21年間で1,132人が卒業

周南コンピュータ・カレッジが閉校



平成24年3月、周南コンピュータ・カレッジが21年の歴史に幕を下ろしました。周南コンピュータ・カレッジは、当時不足していた情報処理技術者の育成を目的として全国に設置された職業訓練施設の一つで、中国地方では唯一のものでした。しかしこの度、経営母体である独立行政法人雇用・能力開発機構の廃止に伴い、閉校することとなりました。

専門的な資格や技術の習得による高い就職率を誇り、21年間で1132人の人材を輩出してきました。また、浅江地区と協力関係にあり、公民館の施設予約管理システムの開発や商店会のホームページ作成など、地域に技術を還元するとともに、様々な地域行事に積極的に参加し、まちの発展と人の交流に大きく寄与してきました。

これまでの功績に感謝し、卒業生の皆さんの更なるご活躍を期待しています。



跡施設は専門学校に

周南コンピュータ・カレッジの跡施設は、YIOCグループ学校法人中央学院が専門学校を開校し、カレッジの機能を継承するIT・ビジネス学科に加え、保育士・幼稚園教諭を育成することも学科が設置される予定です。

新しい高等教育の機会を創出すると同時に、「おっぱい都市宣言」のまちづくりが一層前進する一歩を踏み出します。

ふるさと光応援寄附金(ふるさと納税)に

温かいご協力ありがとうございます

光市では、寄附を通してまちづくりに参加していただく「ふるさと光応援寄附金(ふるさと納税)」を募集しています。平成23年度は、8人の方から、ふるさと光への温かいメッセージとともに合計100万円を超えるご寄附をいただきました。本当にありがとうございます。

いただいたご寄附を魅力あるまちづくりに活用するとともに、引き続き「ふるさと光応援寄附金」を募集します。ご寄附の活用方法は、

- ① 「おっぱい都市宣言」の理念を踏まえた少子化対策
 - ② 「自然敬愛都市宣言」の理念を踏まえた環境保全活動
 - ③ 「安全・安心都市宣言」の理念を踏まえたまちづくり
- などからお選びいただけます。お問合せ・お申込みは、光市企画調整課企画係までご連絡ください。(TEL 0833-72-1400(代表))

ふるさと光応援寄附金の活用例

災害時要援護者把握事業

昨年3月に発生した東日本大震災は、災害に対する備えの大切さを改めて私たちに強く示しました。しかし、全国的に高齢化が急速に進む中、高齢者や障害者など、災害時の対応に援助を必要とする方が今後急増することが想定されます。

そこで、誰もが安全に安心して暮らせるまちを目指して、こうした方が安全・確実に避難できるよう、地域ごとに要援護者を把握し、災害時に即座に対応できる地域の支援体制を確立します。



昨年8月の防災訓練の様子

会員のひろば

第5回総会・交流会の出欠返信はがきで、会員の皆様から近況やふるさと光へのメッセージをいただきました。その中から、一部をご紹介します。

○陽光の眩しい風光明媚な室積の風景が懐かしく思い出されます。

○年に3回（1回につき3週間）ばかり帰省します。殊に夏はふるさと郷土館の大銀杏の下が涼しく暑さを忘れさせてくれます。空気もよく健康回復になります。

○伊藤博文公の生誕地として、維新の里として発展されることを願っています。

○年に2〜3回は帰っております。冠山総合公園がきれいになっており、度々行きます。

○久しぶりに光のかんぽの宿に泊まりました。眺めはいつも変わらない美しい海に心がなごみました。

○総会・交流会を土曜日開催していただけるとうれしいです。

○光を出て26年目、家族4人で引っ越しましたが、今では、親族がトータル11名に増えました。君津に根をおろした形です。

○光を離れて、50年を過ぎました。光を離れがたく、まだ本籍を光においたままです。この間、様々な事が走馬灯のごとく過ぎました。祖母の50回忌をやりましたが、兄弟と一堂に会すのも最後かも知れないと話合ったものです。

○今でも光市を出たときの切符を持っています。上京した時は、光のことをそれほど特別に考えていませんでしたが、今では大切な宝物です。

○ひかり、とても良い響きで心に残っています。今朝食べた物を忘れるこの頃ですが、光市の風景は忘れません。今でも、あの道、この道は自在に歩けると思っています。

★担当から

ふるさと光を離れて何年、何十年を経た皆さんが、今なおふるさと光を懐かしく大切に思っておられることが、メッセージから伝わ

ってきます。その思いを共有できることを、同じふるさとを持つ者として、本当にうれしく感じています。

ふるさとだより

ふるさとの話題をピックアップして皆さんにお届けします。

冠山総合公園「花物語」

※第2・第4水曜日は休園

ばら祭り

5月5日〜5月27日

愛らしい花弁が魅力的なオールドローズや、多彩な花色と香りが楽しめるイングリッシュローズなど、ガーデンングでも人気のばら約330種、1400株が美しい花を咲かせます。



しょうぶ祭り

6月2日〜6月17日

日本古来の園芸種として親しまれている花菖蒲約30種、2500株が、日本庭園のせせらぎに沿って白・黄・紫の花をとりどりに咲かせ、初夏の訪れをさわやかに彩ります。



大河ドラマ「平清盛」にちなんで

平家ゆかりの地をマシ紹介

平判官康頼の碑

清盛を中心とする平家の勢力が隆盛を極めていた治承元年（1177年）、平康頼は、平家打倒を企てたとして、藤原成経、僧の俊寛らとともに、京都から薩摩国・鬼界ヶ島に流刑となりました（鹿ヶ谷事件）。

康頼は、その道中で室積の浦に寄り、近くの小寺で出家して名を性照と改めました。その時に詠んだ「ついにかく そむきはてけむ世の中を とくすてざりし ことぞかなしき」という歌の碑が室積の普賢寺境内に残されています。



大隅稻荷社

寿永3年（1184年）、屋島の戦いに敗れた平家が海路を西に逃れていく中、清盛の異母弟の平経盛は、室積の浦に寄りました。

この時、経盛は、船路の安全の守護神として船中に祀っていた幸徳稻荷大明神をこの地に遷座することとし、同時に愛娘「澄姫」を敗戦の道連れにするのは忍びないとの思いから、この地に留まるよう命じました。

澄姫は、この稻荷様に村の五穀豊穡を祈り、村人に慕われてこの地で亡くなったということなのです。



●大隅稻荷社（現 室積中央町）

利助（伊藤公の幼名）と博文を結ぶタイムトンネル

伊藤公資料館

※月曜日休館
（祝日の場合は翌日）

野田首相の書寄贈

歴代首相の書を収集している伊藤公資料館に、2月11日、第95代内閣総理大臣の野田佳彦様の直筆の書が、前法務大臣の平岡秀夫様を通じて寄贈されました。

書には、儒教の経書「大学」の一節「正心誠意格物致知、修身齊家治國平天下」に由来し、野田首相の所信表明演説のキーワードにも使われた「正心誠意」が記されています。



企画展

伊藤公ファッションショー

（5月27日まで）

伊藤公が身に着けていた有爵者大礼服、宮内官大礼服、統監服、羽織、外套、ナポレオン帽、統監帽、シルクハットなどのおしゃれな衣装に加え、登山靴、夏靴、肌着などの普段着を展示し、伊藤公の衣装を通して見える、洋装に変わった明治時代の服制について紹介しています。

また、実寸大で複製した大礼服を試着することもできます。